

磯子区民文化センター 杉田劇場 平成 22 年度 事業報告

平成 22 年度総括

第 2 期指定管理期間がスタートし、第 1 期 5 年間の成果として生まれた地域・区民とのつながりを集結し、区民とともに財団の総合力を活かし第 2 期 5 年間で目指す循環型運営「つどう」「そだつ」「ささえる」「つながる」「ひろがる」の中で、「つどう」「そだつ」活動について重点的に取り組みました。

第 2 期から始まった「公益財団法人横浜市芸術文化振興財団」、「有限会社アイコニクス」、「株式会社東急コミュニティー」3 社共同事業体間の連携、新たに導入した「杉劇こんしえるじゅ」、「地域文化コーディネーター」による組織体制で、より地域とつながる事業・施設運営に努めました。さらに、21 年度末に発足した「杉田劇場と歩む区民の会」との連携・協働を推進し、第 1 期以上に地域・区民とのつながりを深めました。

特徴的な事業として、地域の人々が世界の音楽に触れるとともに、磯子から世界へ音楽の輪を広げようという目的で開催した「世界とつなぐ杉劇フレンドシップコンサート」や、「杉田劇場と歩む区民の会」との協働で開催し、内容・準備・当日運営などに地域の方々積極的に関わった「冬まつり」、日頃の練習に加え、地域のイベント出演や市外での演奏のほか、コンテンポラリーダンスとの共演など新しい試みにもチャレンジした「杉劇リコーダーズ」など、杉田劇場と地域との新たなつながり・可能性が広がりました。

■ 自主事業に関する振り返り ■

(1) こどもからお年寄りまで区民が集う拠点づくりについて

- 「ママたち賛歌」「フレンドシップコンサート」など、こどもからお年寄りまで幅広い世代を対象に、今までのかかわった人だけでなく、新たな観客や人材を積極的に呼び込む仕組みづくりをします。
- 杉劇リコーダーズ、開館 6 周年記念事業を始めとし、こどもからお年寄りまで幅広い世代を対象に参加型事業を開催します。

達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 子育て世代やこども世代を対象とした事業を年間 8 回以上実施。 ■ 参加型事業の区民参加人数 400 人以上(昨年度目標 300 人)。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ もうすぐママ・パパになる方を対象にした「ぶれまばコンサート」5 月(新規事業)、ひよこコンサート 7 月・9 月・12 月・3 月を開催。日頃コンサートに足を運ぶことが難しい層に向けて働きかけることができました。ひよこコンサートは毎回ほぼ満席の状態、定着してきていることを感じるとともに、こうした場のニーズを強く感じました。 ■ また、区こども家庭支援課からの委託事業をママたち賛歌番外編として磯子公会堂で 10 月に実施し、好評を得ました。 ■ 区民参加の人形劇は、2 月 19・20 日に 3 回公演を行いました。子どもと大人が参加するお芝居のワークショップだけでなく、今回は人形を製作するワークショップも同時に行い、様々な角度から地域の人々に参加いただき、世代を超えた交流やひとつの舞台を完成させる楽しさを感じていただけるものとなりました。 ■ 地域の小学生や、杉劇リコーダーズが出演するフレンドシップコンサート(12 月 18・19 日開催)では、こどもたちが世界の音楽とつながり、磯子から世界へ音楽の輪を広げようという新たな試みとなるコンサートとなりました。 ■ 子育て世代・こども対象事業 9 事業実施。 ■ 参加型事業参加人数は、杉劇リコーダーズ、フレンドシップコンサート、区民参加人形劇のほか、毎月開催した幼稚園児たちと一緒にロビーで歌ったり踊ったりする「ロビーパフォーマンス」参加者を含めると 660 人にのぼり、目標を大きく上回りました。

(2) 人材育成活動について

- 参加者から主体的に活動を行う地域の担い手へと段階を経た人材育成事業を運営します。「地域文化コーディネーター」がファシリテーターとなり区民が次の段階へとステップアップするように常に意識しながら、人材育成事業を運営します。
- 杉劇に集まる子どもたちによって運営される「キッズ会議」を実施、自主的な活動へと移行します。
- 杉田地区以外の区内の学校や大学に働きかけ職業体験やインターン受け入れを実施します。

達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 区民との協働事業、区民が提案し企画運営を行う事業を年間5回以上実施します。 ■ 「キッズ会議」に集う子どもたちの発案による自主的活動を年間3回以上開催。 ■ 区内の小中学校の職業体験と大学生インターンシップ受け入れ人数10名以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ なつまつり・冬まつりでは、区民企画を取り入れるとともに、地域の人々のボランティアを含め、地域一丸となって盛り上げを図りました。特に冬まつりでは、杉田劇場と歩む区民の会が主体的に運営を行うという新たな形式に発展しました。 ■ 区民が企画運営するイマージュ isogo(6月)、劇団チュチュ公演(11月)などを、支援し、発表の場の提供、運営協力を行いました。 ■ 「キッズミーティング」として会は設けていませんが、杉劇リコーダーズやワークショップに参加する子どもたちの声などに柔軟に対応し、地域の人々が関わる施設づくりに努めることができました。冬まつりでは区内の中学校から13名の生徒がボランティアとして参加し、積極的に地域の方々と触れ合う場面が見られました。 ■ 職業体験・インターン:中学生7名、高校生2名、大学生2名・一般4名を受け入れ、参加者の自主性を意識しながらの体験及び、アートマネジメントや文化施設運営への理解や興味を持っていただくきっかけとなるよう対応しました。

(3) 地域活動・芸術文化を支援について

- アウトリーチ事業「杉劇たまたま箱」や職員の専門性を生かし、地域の芸術文化相談・サポート事業「文化 de おじゃまし隊」事業を立ち上げます。
- 過去に「いそご文化資源発掘隊」で発掘された寺院、商店街など地域の文化資源を自主事業やアウトリーチ事業に活用できるよう整理・調整します。

達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の活動支援、地域の文化資源を活かした施設外でのアウトリーチ事業を年間3回以上実施。 ■ 「いそご文化資源発掘隊」パンフレットの作成。文化資源発掘、及び活用事業を年間5回以上実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出張演奏「杉劇たまたま箱」:職員による出張演奏を6回以上実施。そのほか、杉劇リコーダーズも、区内のお祭りや、区の消防出初式など多数出演し、様々なかたちで地域のニーズに応えることができました。 ■ 「文化 de おじゃまし隊」の一環として、子育て支援や高齢・障がい支援などの分野と芸術文化を結びつけるよう、区の当該部署等と連携をはかり事業を行い、芸術文化と他分野とが連携する可能性を広げることができました。 ■ いそご文化資源発掘隊2回実施(ほか1回は地震の影響により中止)。またパンフレット作成にはいたりませんでした。区民参加人形劇WSの一環で人形劇のお話にてでくる区内の様々な場所へのツアーを実施、参加者が磯子区の新たな魅力を発見することにつながり、人形劇のチラシやパンフレットにその様子を掲載しました。

(4) ネットワーク形成・まちづくりへの発展について

<ul style="list-style-type: none"> ● 「杉劇×せんせいミーティング」「フレンドシップコンサート」を通し、学校連携を深めます。「杉劇×せんせいミーティング」では、直接現場の先生方と交流し、地域の情報交換を行うと共に、学校と杉田劇場の関係を強化します。 ● 磯子区区民利用施設連絡会を通して図書館やスポーツセンターなど、今まで連携のなかった区内の施設と連携・協働事業を行います。 ● 杉田劇場と地域とのつながり、「杉劇リコーダーズ」から派生した区外とのつながりを継続します。そのつながりや活動を区内外に発信します。 	
達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「杉劇×せんせいミーティング」の立ち上げ、及び現場の声を事業へフィードバック。 ■ 区内他施設との連携事業を年間1回以上実施。 ■ 区民との協働事業、区民が提案し企画運営を行う事業を年間5回以上実施。 地域協働事業や区外との連携事業をホームページ、通信、館内掲示にて発信。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「杉劇×せんせいミーティング」の一環として、岡村中学校や森中学校の先生方とお話しをしながら、学校でのプログラムに取り組み、連携を深めました。また、定期的に小学校や中学校の校長会へも参加し、情報を収集するとともに、事業の紹介・参加募集・集客につながりました。 ■ はまぎんこども宇宙科学館や区こども家庭支援課、高齢・障害支援課などと連携した事業を行い、今後の連携拡大につながりました。 ■ 杉劇リコーダーズは、各所からの出演依頼が多く、地域のお祭りや消防署の出初式から、区外での演奏会への参加など幅広く活動しました。また、10月には赤レンガ倉庫とのコラボレーションにより、コンテンポラリーダンスにも参加し、新たな可能性が生まれました。 ■ 21年度末に発足した「杉田劇場と歩む区民の会」とともに、地域での様々なイベントへの参加や、なつまつりを協働で行いました。特に今年度初めて区民の会が主体となって冬まつりを実施したほか、芸術文化教育プラットフォームの学校プログラムのコーディネートを協働で実施するなど、連携・協働の拡大をはかりました。 ■ 区民との協働事業 6事業実施。

■施設の運営に関する振り返り■

(1) 開館営業について

<ul style="list-style-type: none"> ● 開館日・休館日 施設の安全維持と衛生管理のため、年間20日間ほどの施設点検を実施し休館日とします。それ以外は、開館営業日とします。 ● 利用時間 午前9時から午後10時を基本開館時間とし、それ以外の時間の施設利用希望があった場合、柔軟に対応します。 											
達成指標	事業報告(振り返り)										
<ul style="list-style-type: none"> ■ 開館日数 345日 稼働率 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ホール</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>ギャラリー</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>リハーサル室</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>95%</td> </tr> </table> ■ 利用料金 目標額 21,600千円 	ホール	65%	ギャラリー	95%	リハーサル室	80%	会議室	60%	練習室	95%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年間施設利用率 ホール 74%(日)、60%(コマ) ギャラリー94%、リハーサル室 73%、会議室 59%、練習室 97% ■ 施設点検日には、共同事業体である東急コミュニティー等により、適切に点検等が行われました。 ■ ホール利用は、事前に打合せを行い、ご要望については、柔軟な対応に努めました。 ■ 利用料金収入 20,373千円。 地震の影響により、年度末に返金が発生し目標額には若干届きませんでしたが、概ね目標を達成しました。
ホール	65%										
ギャラリー	95%										
リハーサル室	80%										
会議室	60%										
練習室	95%										

(2) 来館者・利用者ニーズについて

<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者、来館者の生の声を把握し、施設運営にフィードバックします。 ● 「杉劇の声BOX(ご要望箱)」を設置しお客様のご要望の声をあつめ、現場対応から生まれた意見とともに、業務改善策を検討します。 	
達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「杉劇の声BOX(ご要望箱)」の設置 5月、8月、11月、2月の年4回設置 ■ 「杉劇こんしえるじゅ」と「地域文化コーディネーター」との情報交換(不定期) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ お客様の声を収集する前に、指定管理2期目が始まりスタッフも入れ替わったことから、スタッフの意見や要望を収集する目安箱を設置。職員ミーティングの際に、よりよい施設環境・運営となるよう改善・検討につなげました。 ■ 「杉劇こんしえるじゅ」と「地域コーディネーター」間では、適宜情報交換を行い、利用者や地域の人々の声を収集し、施設運営や事業に活かすよう努めました。

(3) 区民をもてなす接客について

<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域文化コーディネーター」、「杉劇こんしえるじゅ」等、職員のお客様との対応について、迅速で丁寧な対応が行なえるよう、各種研修を実施します。 	
達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 防災訓練、接客研修年間2回以上の実施。 ■ 新マニュアルの作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ AED研修8月実施。入居する建物全体の防災訓練1回に加え、3月に磯子消防署の全面協力により、自主事業想定での消防訓練を実施し、今後の課題等をあらためて認識することができました。また、訓練にあたっては、杉劇リコーダーズの参加を始め、隣接する保育園や入居する建物管理会社との連携など、防災について地域で理解を深めるものとなりました。 ■ 受付について、4月に新しく入ったスタッフを対象に研修を実施するとともに、6月にもフォローアップ研修を行いました。今後も定期的に、迅速で丁寧・適切な対応を行えるよう研修を行っていきます。 ■ 自主事業の表方として、MMホールのレセプションистに入っただき、接客等実践で学ぶ機会を設けました。 ■ 3月末に受付業務マニュアルを改訂しました。

(4) 新たな利用者を増やす営業活動について

<ul style="list-style-type: none"> ● 20年度より実施している学校との連携による施設利用促進「学校の日」を活発化し、部活動やサークル活動の練習場所など平日の施設利用促進活動を行います。 ● 最寄り駅の隣という立地条件、商業施設とつながった利便性などをPRし利用促進のためのチラシを作成します。 	
達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校施設利用年間5校以上。 施設利用案内チラシ作成 ■ 10,000部以上配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設を利用していただく「学校の日」という観点を少し変更し、まずはこちらが学校へ出向き、学校の問題や要望を聞き、アウトリーチ事業等を行い、将来的に学校が杉田劇場へ来ていただけるような相互の関係を構築するよう取り組みを進めました。(小学校・中学校校長会への定期的参加、学校へのチラシ等配布。学校プログラム実施など。) ■ 施設利用案内チラシは、施設案内の見直しにとどまりましたが、アウトリーチ事業等により、施設のPRに努めました。

(5) 新利用料金の設定について

<ul style="list-style-type: none"> ● 同程度の規模である練習室 B と練習室 C の利用料金に差があることにより、料金の安い練習室 B に利用者が集中します。同一の利用料金にすることにより、練習室 B でのピアノ利用者が利用しやすい状況にします。 ● ホール利用セット料金の種類を増やします。 ● 付帯設備利用料の新設定を行ないます。 	
達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 所管の磯子区地域振興課に利用料金改定の相談、申請を行ないます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指定管理第二期目として提案した、利用料金設定(改定)については、ホール利用のセット料金の種類や付帯設備の新設定を含め、検討にとどまりました。23 年度に改定できるよう進めます。 ■ 改定に向けては、区と相談するとともに、利用者に不便をかけないよう、十分な周知と改定根拠について説明ができるようとりまとめていきます。

(6) 情報コーナーの活用について

<ul style="list-style-type: none"> ● ギャラリーの壁面に展示できない立体的な作品や個人の制作物で展示したいという区民ニーズを受け「杉劇一坪ギャラリー」設置の準備を行います。 ● 杉田劇場の情報、磯子区内施設連携の情報コーナー「いそっぴらっく」、スポンサー企業コーナーなど、情報発信コーナーの整備を行ないます。 	
達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 区民のニーズを反映した「杉劇一坪ギャラリー」の運営マニュアル作成、おためし利用。 ■ 杉劇コーナー(年 12 回の情報更新) ■ 地域の情報発信コーナー「いそっぴらっく」(年 12 回の情報更新) ■ スポンサーコーナー ■ 芸術文化情報コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アートディレクターを選定し、「杉劇一坪ギャラリー」の設置・運営について、検討を進めましたが、実施までには至りませんでした。23 年度に実施に向け、引き続き検討・準備を進めます。 ■ 「いそっぴらっく」については、地域の情報を迅速に提供できるよう、整備・整理を行いました。 ■ チラシラックについては、音楽や美術などのジャンルごとに整理し、ニーズに合ったものを見つけやすいよう管理するとともに、日々の整理に努めました。

■施設の管理に関する振り返り■

(1) 修繕・保守について

<ul style="list-style-type: none"> ● 開館 6 年目を迎え、直近の中小規模の修繕に着手し、以後 5 年間を中心とした中長期の修繕計画を作成します。 ● 予防保全に基づく保守点検の実施 	
達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 設備機器の中長期修繕計画(5 年間分)策定 ■ 予防保全に基づく保守点検の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間保守計画の作成 (年 1 回) ・ 月間業務計画の立案 (年 12 回) ・ 建物管理専門スタッフによる巡回設備点検 (年 12 回) ・ 月次報告書の作成 (年 12 回) ・ 清掃インスペクション(検査)の実施 (年 4 回) ・ 利用者に不快感を与えない様、休館日に保守点検を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中長期修繕計画については、共同事業体である、東急コミュニティと相談しながら、策定を進めました。 ■ 保守点検については、計画に基づき実施しました。月間業務計画は毎月事前に東急コミュニティより提示をいただき、実施報告のチェックを行いました。 ■ 施設設備の巡回点検は、奇数月を開館日に、偶数月を休館日に行うことによって、施設のあらゆる状況における状況を把握・点検しました。 ■ 開館日の巡回については、利用者の妨げ・不快にならないよう配慮に努めました。

(2) 安全で安心な、利用しやすい施設運営について

<ul style="list-style-type: none"> ● 安全で安心、安定的な施設管理と長寿命化できる建物管理 ● ユニバーサルな施設運営体制の確立 ● 危機管理の徹底と拡充 	
達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 月 1 回、建物管理専門のスタッフによる設備点検実施。(年 12 回) ■ 介助を必要とする方々が来館された場合の現場対応についての研修を実施。(年 1 回) ■ 防災訓練の実施(年 2 回) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建物管理専門のスタッフにより毎月設備点検を行っています。株式会社東急コミュニティーと共同事業体となったことにより、日々の設備の疑問への相談や、簡単な修繕など対応いただけるようになりました。 ■ バリアフリー研修については、実施できませんでしたが、自主事業等で車イスの方のご来場がある場合は、事前に動線等の確認に努めました。 ■ 建物全体の防災訓練への参加 1 回と、3 月には自主事業時を想定した施設単独での防災訓練を磯子消防署と連携して実施しました。

(3) 運営組織について

<ul style="list-style-type: none"> ● 館長、副館長を中心に、受付業務・チケットセンター業務・広報業務・環境改善業務を行う「杉劇こんしえるじゅ」、事業運営・地域ネットワーク窓口「地域文化コーディネーター」を組織します。 ● 共同事業体の舞台技術を行う「有限会社アイコニクス」設備管理を行う「株式会社東急コミュニティー」と情報を共有しながら業務改善に努めます。 	
達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 優秀な人材・人員の登用。チーフ制の導入による、組織機能の強化。 ■ 3 社による業務改善会議の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4 月より、旧カルチャースタッフを「杉劇こんしえるじゅ」、職員・アルバイトを「地域文化コーディネーター」として、より役割を明確にかつ自覚を持って取り組めるよう位置づけました。新体制 1 年目は、模索しながらの運営となりましたが、来年度以降さらにそれぞれの役割を推進し、杉田劇場ならではの運営体制としていきます。 ■ 不具合や業務改善については、適宜共同事業体間で、情報共有、相談等を行いました。

(4) 管理組合等のネットワーク構築について

<ul style="list-style-type: none"> ● 相互案内や危機管理体制が出来るように、らびすた新杉田管理組合や近隣商店街、近隣地域施設などと連携します。 	
達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「らびすた新杉田店長会議」への出席(年 12 回) ■ 「区民利用施設館長会議」への出席(不定期) ■ 「杉劇×せんせい☆ミーティング」(不定期) ■ 地元消防所、警察署との連携の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ らびすた新杉田店長会へ毎月(年 12 回)出席し、建物全体での情報交換・共有に努めたほか、ゴールデンウィーク、夏祭り、ハロウィン、節分のイベントなどへの参加で連携を深めました。 ■ 区民利用施設館長会議に定期的に参加し、区民利用施設間の情報交換を行うとともに、連携事業の実施や、今後の連携の可能性も見出すことができました。 ■ 磯子消防署の協力により、なつまつりにおいて、展示や消防車の乗車体験等を実施。また、3 月の消防訓練においても春の火災予防週間初日ということもあり、消防車 5 台の出動による大規模な訓練となり、地域と消防とをつなげる役割を担うことができました。また 1 月には消防出初式へリコーダーズが出演するなど連携が深まりました。

■その他の振り返り■

(1) エコロジーの取り組みについて

- 横浜市では、「脱温暖化行動」の指針として、2025 年までに市民一人あたりの温室効果ガス排出量を 30%以上削減する「CO-DO30 横浜市脱温暖化行動方針」を策定しています。この方針に基づき、磯子区とも連携し、「CO-DO30」「いそごでエコ」の啓発への協力を行ないます。
- 職員はもとより、来館者・利用者への省エネ、環境コスト削減への意識改革を図る「すぎげきエコ」を行います。
- 日常業務で使用する消耗品は、再利用製品や省資源・低公害製品を積極的に導入していきます。
- 「エネルギー管理士」若しくは「エネルギー管理員」によるエネルギー使用量の分析を行い、提案を受け、省エネを実践します。

達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「すぎげきエコ」活動の実施。事業でのエコキャンペーンの開催(年2回) ■ 省エネ、環境コスト削減への改革提示(10箇所) ■ 消耗品の再生品、省資源製品、低公害製品の購入(10品目) ■ エネルギー使用量の記録、分析(適宜) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日々のゴミ分別、省エネなどはもちろんのこと、施設の利用者・来館者には、ゴミのお持ち帰りのご案内等により、ゴミを削減するよう積極的に呼びかけました。 ■ エネルギー使用量の分析については、実施には至りませんでした。設備管理者(共同事業体)との相談を進めました。

(2) 友の会組織について

- 杉田劇場オリジナルの友の会組織「杉田劇場スマイルクラブ」の継続と会員獲得に努めます。

達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 登録会員数の5パーセント増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2011年3月現在、会員数約200名。減少傾向が見られますが、より魅力的な特典や、情報の提供など、さらなる会員を獲得できるよう、23年度の会員増を目指します。

(3) 企業協賛について

- 杉田劇場の協賛・支援窓口となる「スマイルファンド」の強化、協賛金だけでなく地域からのご支援(現物協賛)獲得に努めます。

達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ スマイルファンド強化 (協賛金・現物協賛含め1,000千円以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ なつまつり・冬まつりでは、数多くの関係各所からご支援をいただきました。 ■ 地域からのご支援をいただけるよう、地域の企業が集まる事業会への参加や、事業会のみなさまに杉田劇場を知ってもらうようなイベントも開催し(8/19 ナイトカフェ)、地域との連携を深めました。

■収支についての振り返り■

(1) 経営方針について

- 収益構造の改善を区民のために再投資する循環型経営を目指します。

達成指標	事業報告(振り返り)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 利用料金収入の拡大 施設の稼働率の向上と利用料金収入の拡大 (利用料金収入 21,600千円) ■ その他収入の拡大 助成金(各種助成金 3,000千円以上) スマイルファンド(協賛金・現物協賛含め1,000千円以上) ■ 管理費・事務費の削減(0.5パーセント削減) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 助成金:芸術文化振興基金 1,100千円、地域創造 3,400千円予定。(計4,500千円) ■ なつまつりでの現物協賛224千円相当を提供いただきました。 ■ 日々、光熱水費等の節減に努めました。一方開館6年目を迎え、施設設備等で修繕や更新が必要な箇所が出てきており、共同事業体間や委託業者と相談しながら修繕を行うなど、計画的な修繕に努めました。

磯子区民文化センター 杉田劇場

平成22年度 自主事業一覧

NO.	開催日	事業名	会場	入場料 受講料	入場者数 (名)	主催、共催など
1	4月11日(日)～ H23年3月6日(日)	杉劇リコーダーズ2010	リハーサル室	11,000 ～6,000	40	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場 協力等:新杉田 地域ケアプラザ、新杉田のびのび保育園
2	5月8日(土)	映画音楽とジャズのタペ	リハーサル室	2,500 2,000	75	主催:マシュマロレコード 共催:磯子区民文化センター杉 田劇場
3	5月30日(日)	ブレまば☆コンサート	ホール	700 500 300	43	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
4	6月3日(木)	第24回いそご文化資源発掘隊 横浜市 南部水再生センター	横浜市 南部水 再生センター	-	30	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場 協力等:磯子区 内の公共施設、企業等
5	6月19日(土)	IMAGE ISOGO 杉田劇場 2010	ホール	¥1,500	257	主催:イマーージュISOGO実行委員会 共催:磯子区民文 化センター 杉田劇場(公益財団法人横浜市芸術文化振 興財団/有限会社 アイコニクス/株式会社 東急コミュニ ティー共同事業体)
6	7月15日(木)	ひよこコンサート どんどこ♪打楽器すべしやる☆	ホール	700 300	531	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
7	8月18日(水)	劇団若獅子 知覧 螢火	ホール	¥4,000	200	主催:劇団若獅子 共催:磯子区民文化センター杉田劇場 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/有限会社アイ コニクス/株式会社東急コミュニティー共同事業体)
8	8月19日(木)・ 21日(土)	杉田劇場なつまつり 2010 (プレイベント「杉劇Night Café」含む)	全館	1,500 ～無料	1,454	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
9	9月16日(木)	ひよこコンサート 金管たくさんばんばかばへん	ホール	700 300	471	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
10	10月18日(月)～ 12月14日(月)	第18回シルバールいきいき作品展	会議室	—	549	主催:磯子区 共催:いきいきクラブ磯子 協力等:磯子区 民文化センター 杉田劇場(公益財団法人横浜市芸術文化 振興財団/有限会社アイコニクス/株式会社東急コミュニ ティー)
11	10月24日(日)	磯子区子育て支援事業 パパ・ママへ☆ 秋の子育て応援イベント	ホール	—	650	主催:磯子区 制作:横浜市磯子区民文化センター 杉田 劇場
12	10月26日(火)	アナ・ヴィドヴィチ ギターリサイタル	ホール	3,000 2,700	214	主催:メロス・アーツ・マネジメント 共催:磯子区民文化 センター 杉田劇場(公益財団法人横浜市芸術文化振興 財団/有限会社アイコニクス/株式会社東急コミュニ ティー共同事業体)
13	10月27日(水)	横浜市芸術文化教育プラットフォームによる学校プログラム 森中学校:「アテレコ」、「発声・表現・朗読」	森中学校	—	45	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場、横浜市芸術文化 教育プラットフォーム 共催:杉田劇場と歩む区民の会
14	10月28日(木)・ 29日(金)	第14回ヘンリック・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール 日本予選	ホール	—	95	主催:ヘンリック・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンク ール事務局 共催:磯子区民文化センター 杉田劇場 協力 等:株式会社アスベン
15	11月4日(木)	第25回いそご文化資源発掘隊 番外編 横浜市環境創造局南部汚泥資源化センター	横浜市環境創 造局南部汚泥 資源化センター	-	22	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場 協力等:磯子区 内の公共施設、企業等
16	11月5日(金)	オリヴィエ・アントゥネス ジャズピアノトリオ+1	ホール	3,500 3,000	143	主催:マシュマロレコード 共催:磯子区民文化センター杉 田劇場(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/有限会 社アイコニクス/株式会社東急コミュニティー共同事業体)
17	11月7日(日)	コンサートをつくろう!(岡村中学校)	岡村中学校	—	12	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
18	11月20日(土)・ 21日(日)	劇団「横綱チユチュ」第7回公演 『でき・あ・い』	ホール	1,000 700	1,115	主催:劇団「横綱チユチュ」 共催:磯子区民文化センター 杉田劇場(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/有限 会社アイコニクス/株式会社東急コミュニティー共同事業 体) 協力等:イマーージュISOGO、杉田劇場と歩む区民の 会
19	11月26日(金)	菊地裕介 Piano Recital	ホール	3,000 2,700	144	主催:株式会社ヤマハミュージック東京 横浜店 共催:磯 子区民文化センター 杉田劇場(公益財団法人横浜市芸術 文化振興財団/有限会社アイコニクス/株式会社東急コミュニ ティー共同事業体)
20	11月29日(月)	ピアニスト加藤伸佳門下生4人によるBIRTHDAYCONCERT	ホール	3,000 2,700	212	主催:株式会社ヤマハミュージック東京 横浜店 共催:磯 子区民文化センター杉田劇場(公益財団法人横浜市芸術 文化振興財団/有限会社アイコニクス/株式会社東急コミュニ ティー共同事業体)
21	12月12日(日)	ブラバロック合奏団	ホール	4,000 3,500	191	主催:メロス・アーツ・マネジメント 共催:磯子区民文化セ ンター杉田劇場(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 /有限会社アイコニクス/株式会社東急コミュニティー共同 事業体)
22	12月15日(水)～ 27日(月)	せかいのこどもたち展	ギャラリー	-	481	主催:せかいのこどもたち展実行委員会 共催:磯子区民 文化センター 杉田劇場
23	12月18日(土)・ 19日(日)	杉田劇場開館6周年記念事業 世界とつなぐ杉劇フレンドシップコンサート	ホール	2,000 1,000	350	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
24	H23年2月19日 (土)・ 20日(日)	杉田劇場開館6周年記念事業 区民参加人形劇	ホール	1,000 500	417	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場 協力等:杉田劇 場と歩む区民の会、劇団横綱チユチュ、サチコ・シマダ・ダ ンススタジオ、磯子事業会、横浜市三蔵考古館、フロー リスト花だより、ユリフラワーデザインスクール川上教室
25	12月22日(水)	ひよこコンサート クリスマスすべしやる☆	ホール	700 300	538	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
26	12月23日(木)	はまぎんこども宇宙科学館 宇宙劇場「星空のクリスマスコンサート2010」	その他の部屋	¥1,000	221	主催:はまぎんこども宇宙科学館 協力等:磯子区民文化 センター 杉田劇場(公益財団法人横浜市芸術文化振興財 団)

NO.	開催日	事業名	会場	入場料 受講料	入場者数 (名)	主催、共催など
27	H23年2月19日 (土)・ 20日(日)	杉田劇場 冬まつり 2011	全館	500 ～無料	1,320	主催:杉田劇場と歩む区民の会/磯子区民文化センター杉田劇場(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/有限会社アイコニクス/株式会社東急コミュニティー共同事業体)
28	H23年3月6日 (日)	吉澤実となかまたち♪ リコーダーフェスティバル in 杉劇 vol.4	ホール	—	280	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
29	H23年3月10日 (木)	0歳からのちいさなコンサート ひよこ♪コンサート 吹奏楽すべしやる♪	ホール	700 300	568	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
30	H23年3月24日 (木)	第79回日本音楽コンクール受賞記念コンサートin横浜	ホール	2,000 1,000	265	主催:「第79回日本音楽コンクール受賞記念コンサートin横浜」実行委員会 協力等:磯子区民文化センター杉田劇場(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/有限会社アイコニクス/株式会社東急コミュニティー共同事業体)
31	通年	ロビーパフォーマンス2010	ロビー	—	558	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場 協力等:のびのび保育園
32	通年	杉劇たまた箱2010	区内各所	—	—	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場 協力等:磯子事業会/はまぎんこども宇宙科学館/ほか
33	通年	平成22年度 杉劇@助っ人隊	—	—	—	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
34	通年	平成22年度 杉田劇場 スマイルクラブ運営事業	—	-	—	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
35	通年	杉田劇場メールマガジン いそご文化通信★「杉田のメルがま」	—	-	—	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場
36	通年	ひよこメール倶楽部	—	-	—	主催:磯子区民文化センター 杉田劇場

平成23年5月27日

横浜市磯子区長 様

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
理事長 澄川 喜一

平成22年度横浜市磯子区民文化センター収支決算報告について

「横浜市磯子区民文化センターの管理運営に関する基本協定書」に基づき、下記のとおり平成22年度収支決算状況について報告します。

【収支状況】		(単位：円)
収入		141,065,391
指定管理料収入		108,838,885
利用料金収入		20,315,810
事業収入		6,487,698
その他収入		5,422,998
支出		135,456,017
人件費		63,394,108
管理費		50,501,005
事業費		14,058,282
事務費		7,502,622
収支差額		5,609,374
前期繰越収支差額		0
次期繰越収支差額		5,609,374

以上

担当：磯子区民文化センター
未広
電話：771-1212/FAX：770-5656

横浜市磯子区民文化センターの管理運営に関する基本協定書 決算説明書

【収支明細】

(単位：円)

会計科目	
収入合計(A)	141,065,391
指定管理料収入	108,838,885
利用料金収入	20,315,810
事業収入	6,487,698
その他収入	5,422,998
支出合計(B)	135,456,017
人件費	63,394,108
給料手当	23,262,880
福利厚生費	4,466,638
非常勤職員報酬	7,050,290
臨時雇賃金	7,506,974
委託費支出(舞台スタッフ)	18,974,000
退職給付引当資産支出	2,133,326
管理費	50,501,005
修繕費支出	489,213
光熱水料費	14,263,980
負担金支出	18,546,712
委託費	17,201,100
事業費	14,058,282
臨時雇賃金	50,000
旅費交通費(職員)	21,900
旅費交通費(アルバイト)	
通信運搬費	369,451
旅費交通費(その他)	206,000
消耗品費	318,898
印刷製本費	826,355
賃借料	262,482
保険料	2,664
租税公課	9,800
負担金支出	9,100
委託費	11,394,109
支払手数料	37,221
雑費	550,302
事務費	7,502,622
旅費交通費(職員)	213,680
通信運搬費	648,396
消耗什器備品費	91,300
消耗品費	1,283,351
印刷製本費	82,925
賃借料	1,155,640
保険料	46,800
租税公課	2,552,979
支払手数料	122,031
雑費	99,080
雑損失	36,440
事務局への繰入金支出	1,170,000
収支差額(C)=(A)-(B)	5,609,374